

普及活動情勢報告（令和7年9月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

まずは見てみよう！ ～馬路村におけるドローン散布デモ～



ドローン散布を行う
普及指導員

8月19日、JA馬路村出資法人（株）ゆず組合の園地で農業改良普及課がドローンによる薬剤散布を初めて実演し、（株）ゆず組合の組合員など8人が参加しました。

農業改良普及課は、実演機器や散布方法の説明と散布の実演を行い、樹体への薬液の付着状況を確認しました。

参加者からは、「散布時間は短いですが、薬液の調整やバッテリー交換などに案外時間がかかる」「導入については近隣市町村の動向も見ながら判断したい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も産地の課題解決に向けて、産地のニーズに応じた新技術をスムーズに導入できるよう支援していきます。

農業版BCP研修会 ～農村女性リーダー研修会～



災害の備えについて
考える女性リーダー

8月28日、安芸総合庁舎で安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会が「農業版BCP研修会」を開催し、農村女性リーダー4人が参加しました。

研修会では、農業改良普及課職員が、自然災害等の様々なリスクが考えられる中、地震発生後、ハウス被害が発生していない場合を想定し、農林水産省のホームページ上にあるチェックリストを活用し、備えるための必要性や考え方について、事例を交えながら説明しました。

参加者からは、「家で家族と話しをしてみる」「家族で共有することを考えたら、スマートフォンで見れるようになったらいい」「ハード面だけでなく、ソフト面の対策が必要では？」等の声がありました。

農業改良普及課は、今後も女性リーダーの自主的活動を支援していきます。

学びの夏にしよう！ ～あき地区農業夏期集中講座総括～



司会進行する
普及指導員

7～8月、安芸総合庁舎やJA高知県芸西支所で農業改良普及課が「あき地区農業夏期集中講座」を5回開催し、研修生や雇用就農者、農業者等延べ88人が参加しました。

農業改良普及課は、簿記講座等での講師を務めるとともに、外部講師の選定や企画運営を行いました。

参加者の中には、新たに法人化を志す農業者が現れるなど、本講座が経営発展に向けた第一歩となりました。

農業改良普及課は、今後も農業経営の安定と発展につながる研修会の実施に取り組んでいきます。

ポンカン振興対策協議会総会



協議している構成員

9月10日、東洋町役場で東洋町ポンカン振興対策協議会が令和7年度総会を開催し、構成員8人が出席しました。

室戸支所は、令和7年度活動計画の作成などを支援しました。会議では、令和6年度活動実績と令和7年度活動計画が協議され、承認されました。

出席者からは、後継者対策や販促活動などの意見があり、ポンカン産地の課題解決に向けて活発な議論が交わされました。

室戸支所は、今後も協議会活動を支援していきます。

前作を振り返ってみましょう ～みどり認定実施状況報告受付会開催～



実施状況を確認する
普及指導員

9月10、11、17～19日、安芸市内のJA高知県の集出荷場3ヶ所でJAと農業改良普及課がみどり認定に係る実施状況報告受付会を開催し、認定者約190人が報告にきました。

JAと農業改良普及課は、取り組みの進捗状況や前作の振り返りと今後の計画等を確認し、次作の生産履歴の変更点について説明しました。

農家からは、前作の反省を踏まえた今作への意気込みや現状抱えている問題点等が出されました。

農業改良普及課は、引き続きみどり認定の実施状況確認やフィードバック、新規取得に向けて支援していきます。